

「 科目名 」 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材等
芸術	音楽Ⅱ	2	2年	教育出版 音楽Ⅱ改訂版Tutti	なし

到達目標 (学習指導要領)	音楽の多様な世界を知りその世界に積極的に関与して、自分が持っている音楽の世界を広げる
到達に向けての 具体的取り組み (指導上の留意点)	多様な音楽の世界からリートおよびオペラの世界, アンサンブルの世界, 日本伝統音楽の世界を取り上げ, これらの様相を通して音楽をより深く広く捉える。

月	単元・教材名	指導内容	評価の方法	評価の観点
4	・リートおよび オペラ アリア シューベルト「鱒」	リートを題材に、歌詞と音楽とピアノ伴奏が織り成す美しさを味わい、オペラアリアを題材にしてベルカントの発声および表現方法を学習する。	期末に実技試験	発声、表現
5	ベルディ「女心の歌」 「木曾節」「谷茶前」	日本の伝統音楽を味わうとともに西洋式発声との違いを感じさせる。		
6	・器楽合奏 パッヘルベル「カノン」	リコーダー奏法と対位法についてより深く学習する。	期末に実技試験	技能、表現
7	・鑑賞 「鱒」・「女心の歌」 「カノン」 「木曾節」「谷茶前」 1学期のまとめ	同じ曲を違う演奏者により鑑賞しどのように表現方法が違うかを感じさせる。 日本の民謡を味わう	鑑賞文の提出	関心、意欲
			実技試験と提出物、出欠状況による平常点で評価	
8	合唱	混声合唱に取り組み、声によるハーモニーの美しさを味わう。	期末に実技試験	音程、表現
9	「どじょっこふなっこ」 「あら野の果てに」			
10	器楽合奏 バッハ	リコーダー、シロフォン、キーボード、バス、ティンパニ等による編成に編曲された曲を取り上げバロックの音楽様式について学習するとともに合奏の喜びを感じさせる。	期末に実技試験	技能、表現
11	「主よ人の望みの喜びよ」 ヘンデル 「王宮の花火の音楽」			
12	鑑賞 「王宮の花火の音楽」 2学期のまとめ	原曲を鑑賞することにより自分たちの曲がどのように編曲をされているかを学習する。	実技試験と提出物、出欠状況による平常点で評価	関心、意欲
1	器楽アンサンブル	グループによる楽器によるアンサンブルを行う。教科書に掲載されている曲のほかにも自分たち独自のアンサンブルにしてもよい	アンサンブル発表、アンサンブルについての提出物、出欠状況などを含めて総合的に評価をする。	意欲、関心、表現
2				
3	学年のまとめ			

